# 1か　はじまりの時刻表

**使徒1:1～8**　テオピロよ。私は前の書で、イエスが行ない始め、教え始められたすべてのことについて書き、お選びになった使徒たちに聖霊によって命じてから、天に上げられた日のことにまで及びました。イエスは苦しみを受けた後、四十日の間、彼らに現われて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。彼らといっしょにいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。」そこで、彼らは、いっしょに集まったとき、イエスにこう尋ねた。「主よ。今こそ、イスラエルのために国を再興してくださるのですか。」イエスは言われた。「いつとか、どんなときとかいうことは、あなたがたは知らなくてもよいのです。それは、父がご自分の権威をもってお定めになっています。しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」

## 1.　カルバリの丘の契約をくださいました

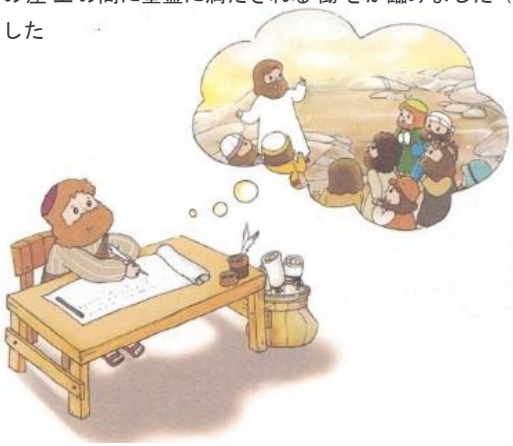
1）イエス様は十字架ですべてを完了されました（ヨハ 19:30）
2）復活されたイエス様は世の終わりまでともにおられると約束されました（マタ 28:16～20）
3）医師ルカはイエス・キリストに関する記録をルカの福音書に残しました（使 1:1）

## 2.　オリーブ山の契約をくださいました

1）弟子たちに神の国のことを言われました（使 1:3）
2）弟子たちにミッションを与えられました
3）40日間言われました　－ 刻印を変える時刻表でした

## 3.　マルコの屋上の間の契約をくださいました

1）しかし、聖霊が臨まれるとき、力を受け地の果てにまで証人となりますと約束されました（使 1:8）
2）このみことばを握った弟子たちは心を合わせて、ひたすら祈りに専念しました（使 1:14）
3）五旬節の日、マルコの屋上の間に聖霊に満たされる働きが臨みました（使 2:1～47）
　－ 根をおろす時刻表でした



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

05

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- [x] 聖書
- [ ] 献金
- [ ] 筆記用具
- [ ] ＜子どもの祈りの手帳＞
- [ ] 週報を読む

一週間握るみことば

# 2か　答えの時刻表

**使徒2:1**　五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。

**1.　最高で最大の答えをくださいました**

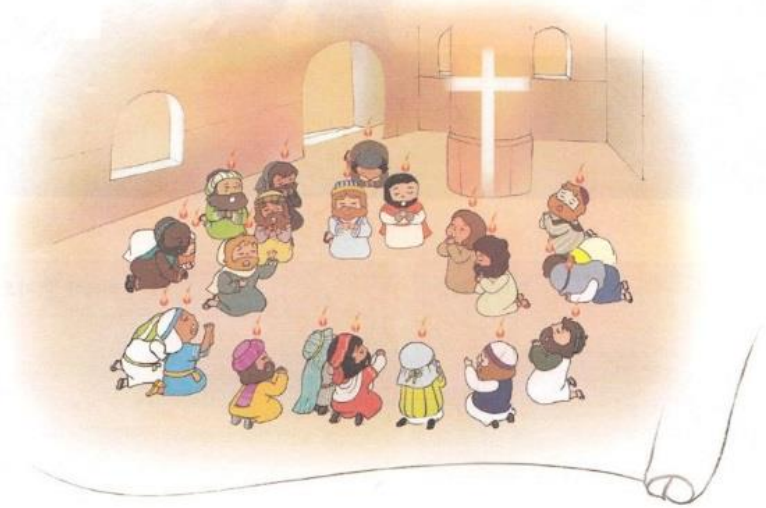
1）イエス様の約束（使 1:8）が成就されました
2）三つの祭りの契約が成就されました
3）教会が始まりました（使 2:1～47）

**2.　重職者の時刻表がありました**

1）信仰と聖霊に満ちた重職者が立てられました（使 6:1～7）
2）聖霊の導きでピリポはエチオピアの宦官に会って、福音で答えを与えました（使 8:26～40）
3）ステパノの迫害によって散らされた人々は、フェニキヤ、キプロス、アンテオケまでも進んでみことばを伝えました（使徒 11:19）

**3.　宣教の時刻表がありました**

1）ステパノのことから起こった迫害が、宣教の門を開く時刻表になりました（使 11:19～30）
2）バルナバとサウロがアンテオケで一年間、多くの弟子を教えました（使 11:25～26）
3）アンテオケ教会が初めて、バルナバとパウロを選択して、宣教師として派遣しました（使 13:1～4）



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

12

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

一週間握るみことば

# 3か　いやしの時刻表

**使徒3:1**　ペテロとヨハネは午後三時の祈りの時間に宮に上って行った。

**1.　ペテロとヨハネがエルサレムの神殿に祈りに行く途中に起こったことです（使 3:1～12）**

1）生まれつき足のなえた人を見つめました
2）神殿の美しの門の前で施しを求めた者でした
3）ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさいと言って右手を取って立たせると起きて歩きました

**2.　ステパノのことから起こった迫害によって散らされた人々が福音を伝えたところ、サマリヤの門が開かれました（使 8:4～8）**

1）ピリポを通してサマリヤの町に福音が伝えられました
2）サマリヤの町には偶像と間違った福音が根を下ろしていました
3）キリストだけを見上げて一心で集中したとき、病気がいやされてその町は回復しました

**3.　パウロがエペソで二年間、弟子たちを別に訓練させたとき、偶像文化が崩れて、アジヤに福音が宣べ伝えられました（使 19:8～20）**

1）会堂で三ヶ月の間、神の国について論じ、承服させようとしました
2）人々が信じなかったため、彼らから離れて弟子たちを別に立て、毎日ツラノの講堂で論じました
3）二年の間、みことば運動を続けたところ、アジヤ住む人はすべて主のみことばを聞きました

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

19

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

## 礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

## 一週間握るみことば

# 4か　更新の時刻表

**使徒19:21**　これらのことが一段落すると、パウロは御霊の示しにより、マケドニヤとアカヤを通ったあとでエルサレムに行くことにした。そして、「私はそこに行ってから、ローマも見なければならない」と言った。

**1.　迫害はより大きな門が開かれる時刻表です（使 8:1～40）**

1）ピリポが行けない所、サマリヤの町に入ってキリストを伝えました

2）ピリポが会えない人、エチオピアの宦官に福音を伝えました

**2.　迫害は更新の時刻表です**

1）ステパノの迫害によって散らされた人々が伝道と宣教をする教会をたてました（使 11:19）

2）ペテロが監獄に閉じ込められると教会が祈る時刻表となり、敵が砕かれる答えにつながりました（使 12:1～25）

3）アンテオケ教会で重職者、産業人が一緒に派遣されて宣教が始まりました（使 13:1）

**3.　新しい転換点の時刻表です**

1）聖霊に遣わされてバルナバとサウロは宣教現場に派遣されました（使 13:1～4）

2）聖霊が渡って来て助けなさいという幻を通してマケドニヤに宣教の門を開かれました（使 16:6～10）

3）エペソで十二人の弟子がパウロを通して聖霊のバプテスマを受けました（使 19:1～7）

4）エペソで神様の大きな働きを成した後にローマに向かって挑戦しました（使 19:21、23:11、27:24）

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

26

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

## 礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

## 一週間握るみことば